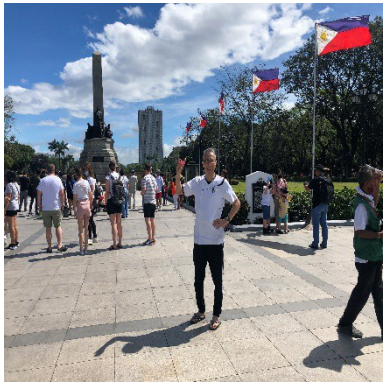
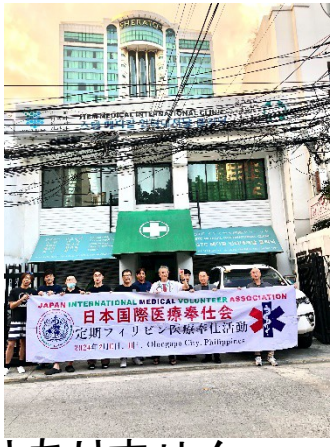


「フィリピンstcクリニック開設4年経過報告
フィリピン貧困地区医療活動2023～24」

発表者
東京上野マイホームクリニック
M190066　伊藤實喜



共同発表者
①NPO日本国際医療奉仕会
赤柴豊明　（歯科医師）
盧　守洪　（医師）
藤井　優（医師）
長野順一（パイロット）

②開業歯科医グループ
黒木克哉　歯科医
赤井啓介　歯科医
田中　良　歯科医

演題発表にはCOI関係はありません

日本レイテ友好協会の紹介

伊藤賢次郎
1996年7月1日
太平洋戦争の
慰霊遺骨支援
、
レイテ島の経済、貧困、医療、交流支援、日
への看護師・介護士・家事支援人材派遣

ホセ・リサール博士(享年35歳)
フィリピン独立運動の闘士　フィリピンの「**国民的英雄**」医師(眼科医)、著作家、画家、学者

志半ばにして捕らえられ、スペイン軍の　手で銃殺されたが、その意志は人々に受　け継がれ、フィリピン独立の英雄として　現在も愛され続けている。

マジックショーの後は、もちろん診療も。

デイケアと同じ新聞紙のクリスマスツリー。
はにかんだ笑顔が愛らしい

Medical Mission & Dr.Magic Show 実績

ルソン島
- オロンガポ地区
- アンヘレス地区

（ピナツボ近辺）
- トンド地区
- パヤタス地区
- ブラカン地区
- アンティポロ地区
  メカワヤン
  マロロス
- マニラ地区

レイテ島
- ビリヤバ町
- オルモック市
- タクロバン市

セブ島
- セブ市
- マンダウエ市

ミンダナオ島
- ダバオ市

MEDICAL MISSION&

Dr. Magic's Show Time

一般社団法人アバンダント＆ドクターマジック　日本レイテ友好会

dr-magic.com/abundant-worldchidren.jimo.com

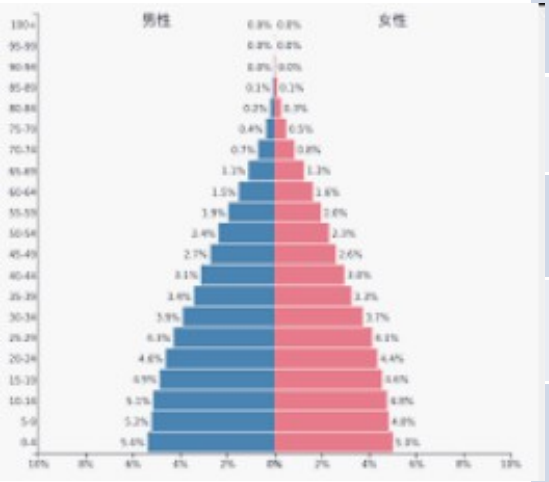
20 . . .

過去６年間の活動実績

日時	場所	対象	対象人数
2018年　3月25日	マロロス市	貧困層	150人
4月29日	カラオカン市	貧困層	200人
5月１～４	セブ市	語学学校生徒、教員、その家族、一般	１５０人
8月12日	セブ市	一般	40人
8月13日	マンダウエ市	刑務所囚人、職員	200人
8月14～15日	マンダウエ市、セブ市	子供キャンプ	230人
9月08日	マニラ市	貧困層	200人
9月09日	マロロス市	刑務所囚人、職員	200人
2019年　3月17日	アンティポロ市	貧困層	200人
4月30日	ブラカン州サンラフェル	貧困層	200人
8月14日	ダバオ市	貧困層	150人
8月17日	タ―ラック州ブエノ　キャパス	貧困層 山岳民族	150人
2020年　1月19日	マロロス	貧困損	200人
1月20日		ブラカン州立刑務所	200人
2020年　2月15日	STCクリニック細切するも3月15日～コロナ禍で約2年半のロックダウンとなる		
2022年　2月10日	STCクリニック診療PCR検査開始		
2023年　5月4日、5日	オロンガポ市	貧困層	230人
2023年　8月8～10	アンティポロ	貧困層	200人
2024年　2月10～11	オロンガポ	貧困層	200人

日本、フィリピンの面積・人口・医療

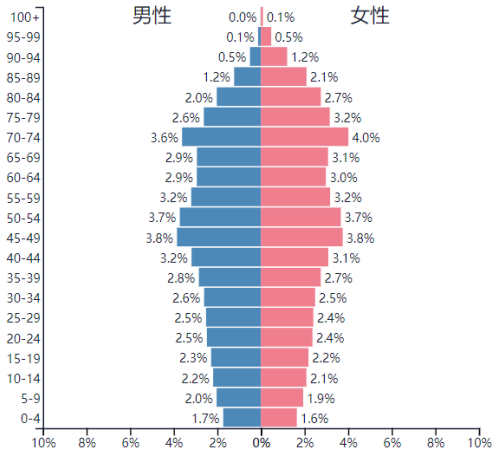
フィリピン



	面積	（万Km²）
14	インドネシア	191
34	ミャンマー	67
50	タイ	51
61	日本	37
69	ベトナム	33
66	マレーシア	32
72	フィリピン	31
82	ラオス	23

フィリピン		2022年	日本	
13位	1.1億人	人口	12位	1.2億人
72位	31万Km²	面積	61位	37万Km²
	24歳	平均年齢	46歳	
	68歳	平均寿命	84歳	
	31万人 11000/1人	医師の数	12万人 354/1人	
（万人）		死因		（万人）
34	癌	①	循環器系疾患	37
18	心疾患	②	心疾患	19
12	脳卒中	③	脳卒中	13
3	肺炎	④	癌	9
老衰	老衰	⑤	感染症及び寄生虫疾	7
1.20％	生後1か月の死亡率			0.09％
156位	7.31	肥満率	6.27	163位

日本



	人口	（億人）
1	インド	14.4
2	中国	14. 2
3	USA	3.4
4	インドネシア	2.7
5	パキスタン	2.4
6	ナイジェリア	2.2
7	ブラジル	2.1
8	バングラデシュ	1.7
9	ロシア	1.4
10	エチオピア	1.297
11	メキシコ	1.293
12	日本	1.226
13	フィリピン	1.1

フィリピン刑務所・貧困地区の現状

<u>貧困地区</u>

ピナツボ地区

トンド地区　パ

ヤタス地区

<u>ストリートチルドレン 薬物中毒</u>

<u>刑務所｜</u>482か所

定員の7倍～8倍

の 囚人収監

劣悪環境、病気等で

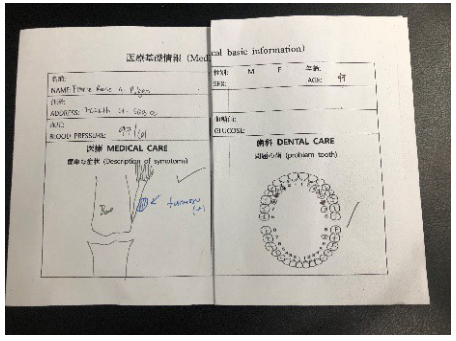
年間約5000人死亡

マンダウエ刑務所Mission（2018年8月13日）

場所｜マンダウエ刑務所2000人収容（麻薬関連犯罪）参加者｜歯科医5名、内科医2名
診察人数
歯科｜120名（検診、抜歯診療中心、歯ブラシ提供）
内科｜80名（入れ墨者多数、皮膚病、銃創未治療者多数）
マジックショーに大歓声
署長より感謝状授与

アンティポロ市Mission（2023年8月9～10）

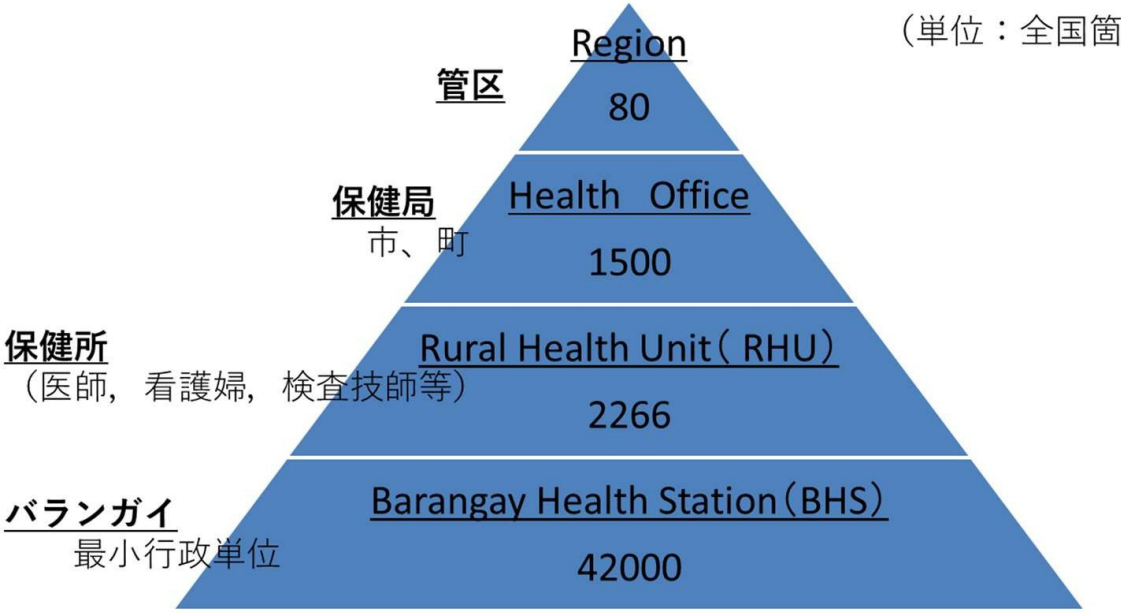
日本　韓国　フィリピン　3ヶ国事業
場所｜アンティポロ市バランガイ地区
参加者｜医師7名、歯科医6名、ボランティア25名
診察人数
歯科｜120名
内科｜80名
**　マジックショーに大歓声**
署長より感謝状授与



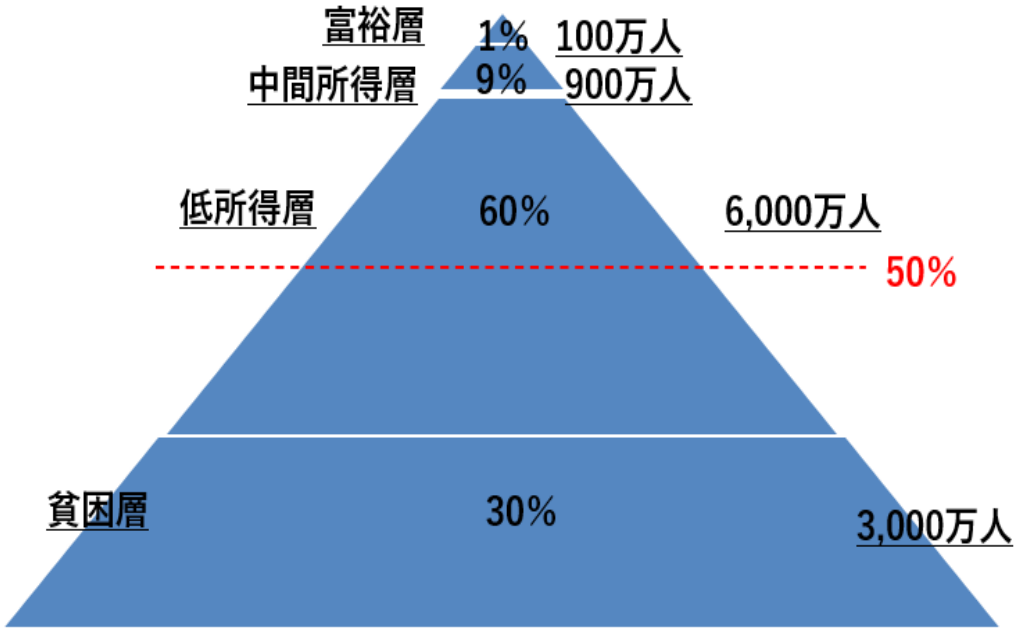
オロンガポ市山村地区Mission（2024年2月10～11）

日本　韓国　フィリピン　3ヶ国事業
場所｜アンティポロ市バランガイ地区
参加者｜医師５名、歯科医７名、ボランティア３０名
　　韓国ロータリークラブ
診察人数
歯科｜120名（抜歯、歯磨き指導）
内科｜80名（感染症、高血圧、糖尿病、腰痛症変形性関節症）
　マジックショーに大歓声

フィリピン保健行政組織



フィリピン収入格差



准看護師兼産婆

➡指導 ・リトルラ
イス&レスシュ
ガー
・野菜中心、魚肉
少々
・エクササイズ
・あまり運動しない

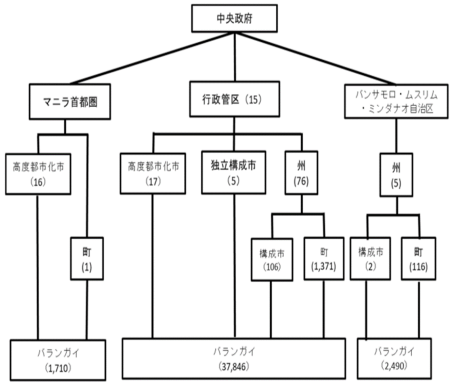
バランガイ

・ Barangay Health Stations
（BHS）
・Medical Mission
・ボランティア
・バランガイ不備
・人材、指導者不足

バランガイ（Barangay 帆船）の特徴

①フィリピン政府創設前から存在する最小自治行政機関（約42000箇所）
②3年に1回選挙で議員7名選出され、地域管理
③地域の安全（警察），健康（医療），教育（学校）
④住民参加，予防接種，健康相談，緊急災害対策
⑤伝統的文化や地域交流の結束促進

問題点
❶都会と地方貧困地区との格差
❷慢性的医療設備の不足と医療スタッフの人材不足
❸衛生指導の不備と人材不足
❹いわゆる日本型の健康診断のシステムが存在しない不備
❺フィリピンの低所得者6000万人と貧困層3000万人対策



行政単位 / 時代	州［州知事］	市［市長］	町［町長］	バランガイ［バランガイ長］
①スペイン統治以前				バランガイ［ダトー］
②スペイン統治期	プロビンシア［アルカルデメイヤー］	カビルド［アルカルデ］	プエブロ［ガベルナドルシロ］	バリオ［バランガイ長］
③革命期	↓	↓	↓	↓
④アメリカ統治期	州［州知事］	市［市長］	町［町長］	
⑤コモンウェルス期	↓	↓	↓	↓
⑥第三共和制期				［バリオ長］
⑦戒厳令期				バランガイ［バランガイ長］
⑧第四共和制期				
⑨ピープル・パワー革命期	↓	↓	↓	↓

フィリピンで子供の糖尿病急増中
肥満大国フィリピンに急成長

既に糖尿病予備軍含み1200万人/1億

2030年には新たに600万人が糖尿病

小児人口の8%が糖尿病、7%が肥満症

30% 3000万人が貧困層　甘い食材が好き体重計がない

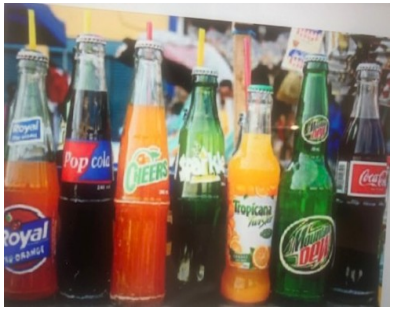
歯磨き習慣ないので歯周病や虫歯が多い

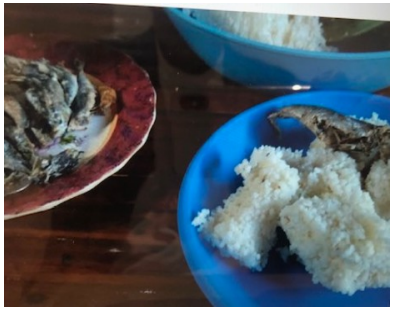
野菜を食べない習慣と奇跡の木『マルンガイ』

や血糖降下作用のある『キャッサバ芋』などを活用し

てない現状や食育指導者不足

日頃からあまり歩かず，トライスケルなどのバイク手段

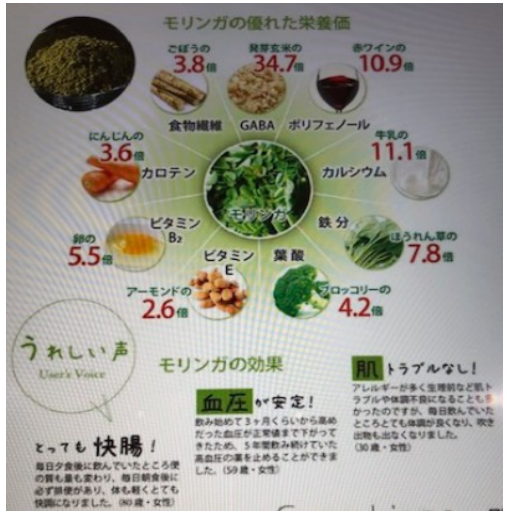


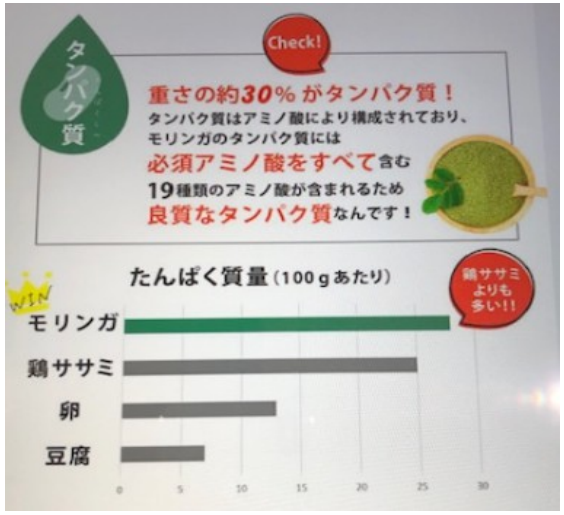


奇跡の植物murungai（モリンガ）

奇跡の植物murungai（モリンガ）
旧約聖書でモーゼが汚れた川にモリンガの木を入れて
甘い水に変化
日本では『わさびの木』　原産北インドタミール地方
体と貧困地区と地球を浄化
①クレオパトラ愛用品のスーパーフード食用，茶，
オイル
②『淋しがり屋の木』でCO2削減、環境浄化，
③高栄養価（国連WEP世界食糧計画）3大栄養素，
ビタミン，ミネラル
④抗酸化作用　⑤免疫力アップ
⑥血糖コントロール⑦血液浄化
⑧地球浄化・CO2吸収・土壌改善・生態系安定・
浄水・農業生産力

美容・美肌・美髪モリンガオイル
❶保湿　❷抗酸化　❸抗炎症　❹抗菌　❺髪の健康





キャッサバ芋の貧困地区活用

Manihot escalenta　タピオカの原料　10億人の食料　栽培簡単

Kamoteng Kahoy （カコテン　カホイ　木の根っこ）1年 2~3m

①栄養豊富（ビタミンB，C，K、葉酸，ミネラルMg，K，炭水化物）
②免疫力，神経機能サポート
③血糖の急上昇抑制，GI値60 前後で糖尿病予防効果
④食物繊維多く，消化排便機能サポート，糖尿病に有効
⑤抗酸化　細胞保護　老化-慢性疾患予防

貧困地区で有用理由
❶お米（1K 50～100ペソ）より安い（1K 20～50ペソ　100円くらい）
❷料理が超簡単（ゆでる，焼く，揚げる，煮込む，粉にする）
❸貧困地区糖尿病の絶大な予防と治療効果を有する事を知らない
❹まだお米中心の食生活でキャッサバはデザートやスイーツが多い
❺健康や糖尿病にはマルンガイやキャッサバのPRが必須である

貧困糖尿病で考えられる要因と対策

①貧困層に多い糖尿病

・空腹を満たす安い米（炭水化物）、おかず少ない、甘いデザートやコーラやジュース,ミリエンダ（おやつ）1日２回の習慣、合計1日5回の食事

・Jollibeeの甘いメニュー、野菜食べない、加工肉や魚は揚げ物、運動しない

・飲酒や喫煙の家族が多く、衛生環境不備で、汚染水、感染症罹患が多い

②そもそも糖尿病を知らない無知な母親、砂糖や塩を大量使用、満腹感を優先

・貧困で子供多く、空腹を満たす事が優先、少ないおかずに安い米に依存

・子供が喜ぶ甘いジュースやデザートを与える事が親の愛情

・お米や甘い食材がでんぷん（炭水化物）で高血糖になる事を知らない

・日頃から運動しない、体育の授業がない、暑いのでジプニーやトライスケル
を利用してあまり歩かない

・日頃から野菜食べない、エンゲル係数が高い

③Barangay（最小行政単位）Health Station の地域教育の不備と人材不足

・慢性的医師不足（日本31万、PHIL12万）ナース不足、海外流出USAや中東

・専門ドクターや栄養士や運動指導員の人材不足、日本流の健康診断の不備

④糖尿病教育の徹底、身長ー100の体重以下、でんぷん食材25%off、食後60分以内の運動、

⑤キャッサバ芋やフィリピンに豊富な栄養価の高いマルンガイの活用なので、

糖尿病予防活動としての食育の再教育が必要

Medical Mission & Dr.Magic show の特徴

①楽しむ事で診療の不安解消となる
②笑う事で免疫治療効果が倍増する
③Magicの体験がMissionのPRとなる
④行政機関に感謝される
⑤日本□□と フィリピン□□と の交流事業となる

まとめ

①コロナ終息後、多くのボランティアのご支援でMedical Mission&Dr.Magic ShowをBarangay Health Stations （BHS）で再開し、フィリピンの貧困地区の方々と有意義な時間を共有できた
②BHSの役割は重要であるが，慢性的な医療スタッフ人材不足やマルンガイやキャッサバ芋やココナツジュースなどの有用な食材活用が不備である事は今後の改善課題にとても有益な情報であった
③フィリピンは慢性的医師ナース不足が社会問題となり、2021年海外出稼ぎ禁止令が施行され、徐々に改善傾向だが？まだまだ時間がかかりそうであった
④貧困糖尿病が急増中であり、STCクリニックが取り組む課題として、今後は健診車を導入して健康診断やマルンガイやキャッサバ芋やココナツジュースなどの活用指導を積極的に行う事となった
⑤今後も年に3〜4回のMissionを行い当学会で報告する予定です

詳しいことは　dr-magic.com
（ドクターマジック）で検索
ご清聴ありがとうございました